

先進急性期医療センターに搬入となった患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 重症外傷患者に対する制限輸血戦略
クラスターランダム化クロスオーバー非劣性試験

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 早川 峰司 (先進急性期医療センター・講師)

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

東北大学大学院 医学系研究科外科病態学講座 救急医学分野 教授 久志本成樹

[共同研究機関名・研究責任者名]

東北大学病院	高度救命救急センター	工藤大介
前橋赤十字病院	高度救命救急センター	小倉崇以
亀田総合病院	救命救急センター	白石 淳
東京都済生会中央病院	救命救急センター	関根和彦
日本医科大学多摩永山病院	救命救急センター	田上 隆
国立国際医療研究センター	救命救急センター	萩原章嘉
香川大学医学部附属病院	救命救急センター	一二三亨
大阪大学医学部附属病院	高度救命救急センター	吉矢和久

[研究の目的]

重症の外傷における赤血球輸血における適切なヘモグロビンの目標値を検討するため。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

重症の外傷の患者さんで、搬入後の急性期に赤血球輸血が必要と考えられる方

○研究の方法

赤血球輸血を実施する際に、目標とするヘモグロビン値（血液中の赤血球の量）を下記のように定め、治療させていただきます。

20〇〇年〇月～20〇〇年〇月

目標ヘモグロビン値 7～9g/dL

20〇〇年〇月～20〇〇年〇月

目標ヘモグロビン値 10～12g/dL

***上記は時期が決定次第、記載します**

○利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、既往歴、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、輸血量、合併症、臓器不全の程度、生命予後

[研究実施期間] 実施許可日～2022年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*もし、上記の研究の候補となられた場合には、改めてお話しさせていただきますが、事前に上記の研究にご協力頂けないことが明確な場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院先進急性期医療センター 担当医師 早川 峰司

電話 011-706-7377